

つなぐために、変わる。

イオングループにおけるディベロッパー事業の機能を統合し、イオンリテール株式会社のモール型・大型ショッピングセンター型の商業施設69モールの管理・運営業務を当社が受託しました。この結果、イオンモールは国内外で140*を超えるモールを運営することになりました。

私たちは、地域社会、行政、NPO、テナント企業、協力企業、地権者、投資家など、まちづくりにかかわるすべてのパートナーとともに、輝きのあるまち、すなわち「驚き、感動、喜び」のある生活拠点を創造し、地域で生活する人々の、より彩りあるくらしの実現に向けて努力します。

人と人、人とまち、そして今日と未来をつなぐために、イオンモールは常に変わり続けます。

※2014年8月末現在

トップメッセージ

イオンモール株式会社 代表取締役社長

岡崎 双一



イオンモールはアジアNo.1商業ディベロッパーとなるべく、2014年度から3か年において国内・中国・アセアンで40モール超の出店を計画しております。近年の中国・アセアンでは、中間所得者層が増大して新たな豊かさを求める消費意欲旺盛な人々が集まる都市化が進んでいます。その中で当社が国内で培った大規模複合型モールの開発・運営のノウハウを活かし、世界の皆さまに喜んでいただけるモールづくりを進めていきたいと考えています。

国内においては、地域の観光資源を活かした観光型モールやリゾート型モール、都市の暮らしに合った都市型モールなど、新しいコンセプトを持つモールの創造を進めています。地域に合ったモールの開発こそ、CSRの実践と考えております。

これまでも、地域にお住まいの皆さまのさまざまなニーズにお応えするため、銀行、郵便局、医療機関、自治体の行政サービスコーナーなど、公共性の高いサービスを積極的に取り入れたモールを作ってきました。今後もそのノウハウを活かし、常に地域の皆さまから支持し続けるモールづくりを行ってまいります。

イオンモールのような大規模商業施設は、一企業だけのものではありません。地域にお住まいの皆さまの生活に密着した公共施設としても機能すると考えております。地域の伝統行事や文化活動などが開催される際には、商業施設の枠を超えたサポートを提供するほか、国内のモールでは、防災活動への協力などに関する協定書を地方行政と締結し、災害対策や防災の拠点として機能する体制を整えています。従業員の皆さまには、万一の際にイオンモールが頼れる場となることを誇りに思うとともに、それぞれがよりCSRに対する理解を深めてほしいと考えております。

モールは、その地域の生活を支える一部です。だからこそ、その地域にお住まいの皆さまに愛される存在であることが一番大切であると考えております。そのためにもCSRの取り組みは重要であり、CSRを抜きにしてモールは存在できないといっても過言ではないでしょう。

このCSRレポート『未来への報告書』で、私たちが携わるまちづくりに関してご報告いたします。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

